

有機農業技術のつぼ

【NO. 2】

作物名	水稲
対応技術の項目	除草技術
	物理的防除法
	機械除草

《情報収集先の経営概要等》

せたな町 金谷 勝則 氏 経験年数37年（うち有機年数5年）
経営耕地面積 7.7ha（うち有機面積5.7ha）
水稲 7.7ha（うち有機面積5.7ha）
労働力 家族2人
有機JAS認定の取得状況（H20年取得）

問題点

除草剤を使用しないことで雑草が繁茂し、稲の生長が妨げられた

- 手取り除草では対応できず、収量に大きな影響があった

対応

機械除草機を導入した

つぼ

- 移植後、5日位で1回目の除草を行う
2回目以降は、7～10日間隔で4～5回程度行う
※ 代かき：（移植前2日前）
育苗様式：成苗ポット



- あきらめずに地道にコツコツ毎日、田んぼの中を歩く

※ 対応技術活用上の注意点

雑草が生長するため、代かきから移植するまでの日数を短くすること、移植後、なるべく早く1回目の除草を行うこと、除草の間隔を空けないことが大切である。

成果

機械除草機導入前より雑草を7割以上抑制し、10a当たり収量も120kg向上！

- 機械除草機導入前 180kg/10a → 導入後 300kg以上/10a

【参考】 (株)美善^{びぜん} あめんぼ6条用SGL-6T



除草機（正面）



除草機（側面）